

うるま市立高江洲中学校
学校だより
2018年度 第4号
発行:校長 田港朝満



同志小

「同志小(どうしぐわあー)」とは同じころざしをもった仲間(友達)が集まった学校を目指すという意味です。

中頭地区中学校夏季総合体育大会で生徒が魅せたもの

各部の試合結果

去る6月2日～10日にかけて中頭地区中学校夏季総合体育大会が開催されました。県大会への出場を決めた部もあれば初戦で敗退してしまった部もありましたが本校の生徒の戦いには共通した輝きがあったように思います。まず各部の試合結果一覧です。

部名	試合結果
野球部	1回戦敗退 高江洲0-11読谷
サッカー男子	県大会出場 ベスト8 1回戦 高江洲2-0美里 2回戦 高江洲2-0琉大付属
バスケット男子	県大会出場 準優勝 決勝戦 高江洲43-49コザ
バスケット女子	1回戦敗退 高江洲43-65石川
バレー男子	予選リーグ敗退 高江洲0-2あげな
バレー女子	県大会出場 ベスト8 1回戦 高江洲2-0古堅 決勝トーナメント 高江洲2-0美里
テニス男子	2回戦(対具志川東)敗退 シングルス県大会出場 (平良翔太郎)
テニス女子	1回戦(対嘉数中)敗退 ダブルス県大会出場 (普久原彩音・我那覇綸) (山城愛莉・新崎希亜羅)
サッカー女子	6位 1勝1敗2分 高江洲4-0名護
空手団体組手	6月30日(土)県大会開催(伊波侑隼、比嘉心将、山本琉暉、仲嶺知志 出場)
水泳	7月21日(土)22日(日)県大会開催(金城愛斗、兼城小椿紀、兼城乙華 出場)

野球部 野球部は、初戦で読谷中学校と対戦し11対0で敗退しました。試合結果だけに注目すると大敗に見えますがスタンドから見る子どもたちの姿には確かな成長と高江洲中学校らしい誇れる姿がありました。どんなに点差をつけられても全力を出し切ること、自分たちにできることを精一杯やろうとする姿は見る者の心に本当に大切なことと本当の強さを伝えてくれたと思います。

また、どんなに追い込まれている状況でもベンチの前に集まり監督の話を聞くとときの表情には、真剣であきらめない心の強さが表われていたように思いました。野球部は着実な成長の一步を踏み出したと思います後輩の皆さん期待しています。



サッカー部(男子) 男子サッカー部は、これまで実力はありながらもPK戦にもつれこんで負けてしまう等、思うような結果が出せない試合が続いていたようですが今回の大会では、着実に力を出し美里中学校、琉大付属中を破りベスト8まで勝ち進み見事県大会への出場権を手に入れました。試合で自分を信じる事が出来るか、仲間を信じているか普段の練習にかかっていると思います。日々の練習でやれるだけのことをやった人に迷いは無くベストなプレーができると思います。県大会で最高のプレーができることを祈っています。



バスケット部(男子) 男子バスケット部は、実力通り順調に勝ち上がり決勝戦で宿敵のコザ中と対戦しました。結果は43-49の僅差で敗れてしまいましたが中盤は、リードを保ち続けていましたどちらが勝ってもおかしくない試合でした。試合をふり返って「～だったら」「～していれば」と言うことは簡単です。それよりも自分のプレーをふり返り、先を見ずして、今何をすべきかを考える者が勝利をたぐり寄せるのだと思います。決勝戦は、本当に立派な試合でした。実力も十分についていると思います。後は県大会で、その力を証明するために気持ちを高め、集中して練習に取り組んでください。県大会での活躍を期待しています。



バスケット部(女子) 女子バスケット部は、初戦で強豪の石川中学校と対戦しました。試合をふり返ると確かに終始リードされる展開でしたが女子バスケット部のプレーに心打たれたのは、やはりあきらめずに自分たちの持っている力を全て出し切ろうとする姿でした。最後の1秒まで力を出し切ることに集中し力をふりしぼる姿は、やはり高江洲中学校らしく、誇りに思えるプレーの連続でした。この姿が後輩に引き継がれ、どんな時も見る者の心に残るプレーができる女子バスケット部であることを期待しています。



バレー部(男子) 私は残念ながら男子バレー部の応援に駆けつけることは出来なかったのですが顧問の小島先生からは、大きな差があった他校との実力が次第に縮まってきているとの報告を受けていました。今回、沖縄東中学校にセットカウント2-0で破れてはいますがセットの内容は、第1セット沖縄東25-27、第2セット25-21と対等な勝負を展開しています。今後、男子バレー部が力を蓄え心を成長させ勝利の報告に来るのを楽しみにしています。



バレー（女子） 女子バレー部は、初戦で古堅中学校と白熱した試合を展開しました。1セット目、常にリードされる展開でしたが高江洲中学校のファインプレーが出始めると形勢が逆転します。そのまま2セットを連取して勝利を収めるのですが、何度も追いつかれ、いつ流れが相手に行ってもおかしくない場面が何度もありました。しかし、その度に声をかけ合い、励まし合い、笑顔で自分たちのプレーをやりきったところに本校女子バレー部の強さがあったように思います。試合という場面で選手、監督、控えのメンバー全員がお互いを信じていくことができたことが快進撃のはじまりだったように思います。すばらしい試合でした。



テニス（男子） 男子テニス部は、初戦であげな中学校を破り2回戦へ進出しましたが具志川東中学校に敗れてしまいました。しかし、そのような中でもシングルスにおいては2年生の平良翔太郎さんが県大会への進出を決めています。テニスは、団体戦と個人戦が行われる種目でチームとしての戦いと個人での戦いペアでの戦いと様々な場面がある種目です。しかし、どんなに孤独な戦いの場面でも仲間がいてチームがいることは選手にとって大きな力となるはずで。新チームのさらなる飛躍を期待します。



テニス（女子） 女子テニス部は、団体戦1回戦で嘉数中学校と対戦し初戦敗退という結果になってしまいましたが、個人戦のダブルスでは、2ペア（福原彩音・我那覇綸）（山城愛莉・新崎希亜羅）が県大会への出場権を獲得しました。対嘉数戦は接戦となり、1ポイント、1ゲームの大切さを感じるゲームでした。テニスは、自分のミスが相手の得点になる種目です。そして、選手はコート上で孤独です。だからこそメンタル面が非常に大きく影響するスポーツなのでしょう。県大会へ出場する実力をもつペアが2組いることを考えれば十分な実力があることは間違いありません。今後、女子テニス部の活躍を期待したいと思います。



サッカー（女子） 女子サッカー部は、まだチーム数が少なく中体連夏季総体では大会が開催されませんがOFA第10回沖縄県中学校女子夏季サッカー選手権大会が開催されました。女子サッカー部もこれまで実力を蓄えて強豪相手にも一歩も引けを取らない試合をしていました。素人の私ですがチームの印象は、守りがしっかりしていて走り負けない全員サッカーというイメージです。しかし、なかなか得点できないことが、いつも応援してはがゆい思いをしていた点でした。しかし、今回の大会では名護中学校との試合で大量4点をあげ、ほんのわずかなオフサイドで得点が認められなかった1点もあり得点力が確実にレベルアップしていることを証明しました。次の試合に期待が膨らみます。



あきらめない一生懸命な姿

今回の大会を前にした選手激励会や部結成で私は、子どもたちに人に感動を与えるのは、あきらめずに一生懸命に頑張る姿であることを何度か伝えてきました。甲子園でよく見られるシーンである9回、最後の攻撃の場面で大きく点差が開いて2アウトランナー無しの場面で内野ゴロの凡打でありながら全力で1塁まで走りヘッドスライディングをする選手を見て誰も笑ったりしないこと、みんなが少なからず心を動かされ、感動することを忘れてほしくない伝えてきました。人は、すごいプレーよりも、最後まであきらめない一生懸命な姿により深く感動することを知っていてほしいと思います。応援している人は、もちろん勝利を願っていますが、それ以上にみなさんの一生懸命な姿を応援しているのだということを知って欲しいと思いました。

今回の中頭地区中学校夏季総合体育大会では、初戦敗退の部も準優勝の部がありました。しかし、私が応援に駆けつけて目にしたものはどの部もあきらめず、自分のもてる力を全て出し切ろうとする一生懸命な姿でした。どの試合も、どんな結果でも、深く感動させられる試合でした。あらためて高江洲中学校の良さを確認できたような気がします。選手たちのあきらめない一生懸命な姿は本校の誇りになっていくと信じます。

そして、もう一つ大切なことは、部活動を通して何を学ぶかということです。全国制覇をしたある部の部室にこんな文章が掲げられていた話を聞いたことがあります。一つ「あいさつができる人になろう」一つ「思いやりのある人になろう」一つ「やさしい人になろう」一つ「強い心をもった人になろう」・・・など十か条ほどが続いて、一番最後の一行が「そして〇〇で全国一になろう」。この部は実際に全国制覇を成し遂げたそうですが、まさに部活動を通して何を学ぶかを大切に部活動だからこそ達成できたのではないのでしょうか。実は、本校でも今年度から部活動6ヶ条が奨励されています。下の写真は学校に掲示されている6ヶ条です。内容を以下に示します。

- 1 時間を大切にすること
- 2 あいさつは立ち止まって丁寧すること
- 3 整理・整頓・後始末ができること
- 4 目配り・気配り・心配りができること
- 5 自分の可能性を追い求めること
- 6 感謝の心と謙虚な姿勢をもつこと

部活動を通して子どもたちが人として成長していくことを心から願っています。



栄養会への感謝

本校では各部の保護者持ち回りで中頭地区中学校夏季総合体育大会に向けて栄養会を開いていただいています。今年も全ての部活動に所属している生徒全員分の牛丼が準備され子どもたちも大満足だったと思います。忙しい中、今年度、栄養会を担当してくださった男女サッカー部の保護者の皆様から感謝申し上げます。この時の決意表明で気持ちが切り変わった子どもたちもいるはずで。

